

# 矢作川流域圏懇談会通信

H26 山部会編 vol.8



発行日：平成 26 年 12 月  
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

## ◆第 23 回山部会WGを開催しました！

12 月 19 日（金曜日）に第 23 回山部会WGが豊田市役所足助支所にて開催されました。今回の WG では、「山村再生担い手づくり事例集」、「山村ミーティング」「森づくりガイドライン」、「木づかいガイドライン」について、進捗の確認と今後の進め方について話し合いました。豊田市森林組合の新庁舎の見学を行いました。

日時：平成 26 年 12 月 19 日（金）13 時 00 分～17 時 00 分  
場所：豊田市役所 足助支所 2F 第 3 会議室  
参加者：22 名（事務局含む）



## ◆主な会議内容

### 1. 山村再生担い手づくり事例集について



今年度作成中の山村再生担い手づくり事例集の進捗状況の報告がされました。取材結果の中間報告会が 12 月 16 日（火）に矢作川研究所で実施され、今後の進め方や編集に向けた意見交換やスケジュールなどの確認が行われました。

1 月に予定されている山部会地域部会やその後の全体会議に向けて、事例集のとりまとめを進めていきます。



### 2. 山村ミーティングについて



山村ミーティングは、矢作川流域圏でほかの団体が開催するイベントなどの情報収集を進めながら、今後、矢作川流域圏での開催につながる内容については、企画化に向けたアイデア出しなどを行いました。

今回は中川きこり祭りのイベントについて紹介があり、他地域でも森林に関わる様々な人たちが森林の活性化に向けたイベントを行っていることを情報共有しました。



### 3. 矢作川流域圏森づくりガイドラインについて



森づくりガイドラインでは、矢作川流域圏にどのような森があるか等、特徴的な森づくりに関するリストを作成しています。ガイドラインに掲載していく地域の森づくりに関する情報について話し合いが行われました。また、今回のWGの開催地にあるおいでん山村センター（豊田市足助支所）から、地域の森づくりについて情報提供があり、今後の森づくりに関してメンバーで話し合いが行われました。

今後は、山部会地域部会に向けて森づくりガイドラインの情報収集を進めていきます。



### 4. 矢作川流域圏木づかいガイドラインについて



矢作川流域圏の木づかいの推進を実現化するための「矢作川流域圏木づかいガイドライン」は、市民がアクションを起せる取組などについて意見交換しています。

「木づかいガイドラインの提案者・モニター・場所」や、「「スギダラ「どこでも～シリーズ」の製作内容について」」、「木づかい推進・木づかいガイドライン事業のための各町連携による予算化について」などが話し合われました。

また、木づかいガイドラインの作成イメージが示され、意見交換を行いました。



## ◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、建設専門官 真柄  
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

\*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト（yahagigawa@ijinet.or.jp）までお送りください。



## ◆話し合いでの主な意見 (・意見 ▶回答)

### ●山村再生担い手づくり事例集について

これまでに、今年度取材を行う 21 団体を決定し、取材者とのマッチングを行った後、取材を開始している状況です。

**中間報告会 12月16日** → 調査者によるレポートの作成・提出、編集会議、事例集の完成(12月~3月までを予定) → ぶりかえり(1~2月)

### ○取材先と取材者のマッチング結果

取材先	取材者
木の駅ねばりん、ねば杉こ餅、竹内牧場	*沖章枝、松井賢子、浅田益章
グローバルハム、矢作川森林塾、矢作川水族館	*山本薫久、國村恵子、田中五月
三宅林業、東幡豆漁業、佐久島もんべまるけ	*丹羽健司、洲崎燈子
アンティマキ、てくてく農園、あさひ若者会	*蔵治光一郎、大島光利、森本徳恵
足助里山ユースホステル、新盛里山耕流塾、近藤しいだけ園	*浜口美穂、蜂須賀功
こいげやクリエイト、アグロフェルタ、とよたプレーパークの会	*近藤朗、高橋伸夫、真柄明洋
じさんじょの会、額田林業クラブ、宮ザキ園	*今村豊、唐澤晋平

### ●山村ミーティングについて

北海道中川町の中川きこり祭りについて紹介がありました。2月23日(11時~16時)で予定されており、足助のもみじ祭りにも似たことをしている例で、きこり丸太レース等を行う予定です。森林組合や1ターンの活性化にもつながり矢作川流域圏でやれるとよい。



- ・ 岡崎森林組合のおかもりフォレストーズなどと一緒にやればよい。(山本)
  - ▶ 森の健康診断の際に演奏した際に話題になり、後日、他地域からも声がかかっていることも聞いている。(丹羽)

### ●矢作川流域圏森づくりガイドラインについて

森づくりガイドラインの作成に向けて、特徴的な森づくりについて情報共有が行われました。また、おいでん・さんそんセンターの鈴木氏から、敷島集落でのアンケート調査の結果の報告をしていただき、それに対する質疑が行われました。

#### ○主な意見

- ・ 空き家といっても正月やお盆などは使用し、それ以外は放置してある例が多い。(今村)
- ・ 施業主体とあるが、この場合の施業主体の育成というのはいくらぐらいのエリアを対象としているのか興味深い。(蔵治)
- ・ 持続可能な山づくりをしていく必要がある。農業的な暮らし、半農半林みたいなことができれば、地域や山主の営みにつながるのでは光はあると思う。(山本)
- ・ 森づくりガイドラインについて、地域の樹木についての写真はありますか。(今村)
- ・ 山村再生担い手づくり事例集でもマップをつくるので、森づくりのものと将来的には一緒に作っていただければよい。(洲崎)
- ・ 藤川のまつ並木も入れたい。藤川宿でまちづくり協議会の活動が盛んである。(野村)



### ●矢作川流域圏木づかいガイドラインについて

木づかいガイドラインは作成イメージの共有が行われ、その他の取り組みについて意見交換が行われました。

#### ○主な意見

- ・ 根羽村シンポジウムについては3県合同主催の意味合いを確認したい。(高井)
- ・ シンポジウムは午後から開催できないか。(蔵治)
- ・ 空き家活用は重要だが、地元材を使ってみんなで作ってしまうほうが早い。
  - ▶ 根羽村の小さく住まう木の住まいは800万円でするのでモデルハウスのようなものもよい。(洲崎)
- ・ 都市計画区域外だから農家の分家住宅、既存宅地でしか建てられない。(野村)
- ・ 空き家はお墓と仏壇がネック。その世話を地元がしてもらえれば。(高橋)
- ・ 釜石森林組合がB材を使った暖かい家を作ったがあれを豊田・岡崎でできればいい。また、製材屋が豊田と三好で1軒ずつしかないがもっと増えるとよい。(鈴木)



### ●足助支所の見学について

昭和48年に竣工した現在の豊田森林組合本所(足助農林センター)が、老朽化により改築中です。平成27年3月の竣工をめざし建築中の現場を見学しました。



### ●平成26年度の山部会地域部会について

今年度の山部会地域部会では、2名の方々からの講演も予定しています。フォレストベンチ研究会の栗原氏と木曾川流域 木と水の循環システム協議会の青木氏をお招きし、間伐材利用など木づかいの事例の話題提供をお願いしています。

## 今後のスケジュール(予定)と情報提供

今年度の山部会地域部会は、1月29日に開催されます。

